

2021年5月28日

三田史学会会員各位

三田史学会会長
神崎 忠昭

2021年度三田史学会大会について

下記のとおり、2021年度三田史学会大会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

記

1. **期 日** 2021年6月26日(土)
2. **会 場** Zoom ミーティング(ウェブ会議サービス)によるオンライン開催
3. **行 事** 下記の大会プログラムのとおり
4. **参加方法** 午前・午後の部ともに会員・非会員を問わずどなたでも自由に参加できます。
事前申込の必要はありません。
○下記の大会プログラムに記載されている各部会のZoom ミーティングのURL リンクまたは二次元バーコードからアクセスしてください。URL・バーコードは部会毎に異なります。
○Zoomにおける質疑応答等の方法については、各部会の司会者の指示に従ってください。
○各部会のレジュメは、プログラム記載のレジュメ収納先のURL リンクまたは二次元バーコードからオンラインの収納フォルダーにアクセスし、そこから適宜ダウンロードしてご利用ください。
5. **懇親会** 開催いたしません。

2021年度三田史学会大会プログラム

午前の部 研究発表

日本史部会(10:30~)

Zoom ミーティングのURL :

<https://keio-univ.zoom.us/j/82924925633?pwd=ZEk5Siltov2hE0DdNdHBVUJztVjNHUT09>

レジュメ収納先のURL :

<https://keio.box.com/s/poxvjg5i6lhke8r14h8tz84rq93zne7y>

日本史部会 Zoom ミーティングの二次元バーコード



日本史部会レジュメ収納先の二次元バーコード



1. 三浦氏の芸能と鎌倉幕府—鎌倉御家人の音楽環境とその基盤をめぐって—
神奈川県立歴史博物館 渡邊 浩貴
2. 慶應義塾図書館所蔵『日次記』と徳川吉宗
慶應義塾大学文学部 中島 圭一

東洋史部会 (10:00～)

Zoom ミーティングの URL :

<https://keio-univ.zoom.us/j/85826981449?pwd=UIVoWlhVcWszRCtCWFhyT2RPy3JVZz09>

レジュメ収納先の URL :

<https://keio.box.com/s/8odtIkt5ky6qvyihetug1s6lcc7aye4>

東洋史部会 Zoom ミーティングの二次元バーコード



東洋史部会レジュメ収納先の二次元バーコード



1. 1920年代前半、中華民国国内の鉄道問題をめぐる北京政府外交
慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程 宮脇 雄太
2. 18世紀後半イスタンブールの皮鞣工組合：主計局台帳の分析から
慶應義塾大学文学部 藤木 健二
3. ザンギー朝の解体と存続
公益財団法人東洋文庫／上智大学アジア文化研究所 柳谷 あゆみ
4. 黄土の王、長江の王、春秋戦国時代の王権と環境
淑徳大学人文学部 村松 弘一

西洋史部会 (10:30～)

Zoom ミーティングの URL :

<https://keio-univ.zoom.us/j/85068896274?pwd=ek1WcVdDMHlMbW5NbHlkWkJKGTdNGZz09>

レジュメ収納先の URL :

<https://keio.box.com/s/0qgs9g9gytsottb9tjxvh66qgs7os42>

西洋史部会 Zoom ミーティングの二次元バーコード



西洋史部会レジュメ収納先の二次元バーコード



1. 問題ある説教者としての教皇ヨハネス 22 世-至福直観論争の別側面-
慶應義塾大学文学部 赤江 雄一
2. 1592年タラソナの議会の政治力学-16世紀後半スペイン王国の政治文化の表徴として-
広島大学大学院文学研究科後期博士課程 岡田 智也
3. 暴動期の史料から見る「労働の流動性」の実態
-1766年ギブスコアの民衆暴動マチナーダを中心に-
慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程 土肥野 秀尚

民族学考古学部会 (10:00～)

Zoom ミーティングの URL :

<https://keio-univ.zoom.us/j/88167538226?pwd=UTV1Zm1DZOYwZHNGYlBXMG1wMMVudz09>

レジュメ収納先の URL :

<https://keio.box.com/s/hxmyx4jg4hg7236ggkc0bipk5c5ggrxa>

民考部会 Zoom ミーティングの二次元バーコード



民考部会レジュメ収納先の二次元バーコード



1. 型押小碗からみる江戸時代における紅化粧の普及過程
ー江戸市中および周辺地域を対象にー
慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程 岩浪 雛子
2. 江戸時代人の咀嚼筋付着部形態と咀嚼力ー埋葬施設の構造・時期による差異ー
慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程 森 瑛正
3. 浦幌町におけるラポロアイヌネイションの遺骨と副葬品の返還をめぐる諸活動
ー歴史実践としての側面を中心にー
慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程 瀧川 奈々
4. ハランのビーハイヴ・ハウスについて
東京大学大学院博士課程 (日本学術振興会特別研究員 DC2) 江原 聡子

午後の部 (13:30～16:45) 総合部会

Zoom ミーティングの URL :

<https://keio-univ.zoom.us/j/86319986674?pwd=Zm5UcjdYK1YUENpei9BbjArUWdXUT09>

レジュメ収納先の URL :

<https://keio.box.com/s/ysrejcebp40t04o26whh0l5a9k3i3fwj>

総合部会 Zoom ミーティングの二次元バーコード



総合部会レジュメ収納先の二次元バーコード



総合部会シンポジウム 「『史学』100年の総括と展望」

1921年10月に三田史学会の機関誌『史学』が創刊された事実から計算すると、2021年10月で丁度その100周年を迎えることになる。本シンポジウムの主目的は、それを記念して、三田史学会と『史学』が果たしてきた歴史学全般への学術的貢献に関する理解を深めながら、現在同誌が抱えている課題をより正確に認識し、今後について考えるための題材を提示し、本学会のさらなる学術的発展に寄与するために必要な建設的な議論を提供することにある。なお、かつて1990年6月16日(土)・23日(土)に「三田史学の100年を語る」という大規模なシンポジウムが、慶應義塾大学三田キャンパスにおいて開催され、その内容に関連した豊富な報告記録が『史学』(60巻2・3号、1991年6月公刊)に収録されている。この企画との間に内容上大幅に重複した形態でのシンポジウムを、今の時代にあえて開催する意義はあまり認められない。従って、本シンポジウムでは、1990年の三田史学会大会総合部会シンポジウムの内容を踏まえて、それを補完しながら、1990年のシンポジウム以降を中心に議論を展開させることを主眼とする。

講演1 「『史学』から読む三田史学会のこれまで（1990年以前）」	慶應義塾大学文学部 教授	神崎 忠昭
講演2 「1990年以降の各専攻」		
【日本史学専攻】	慶應義塾大学文学部 教授	浅見 雅一
【東洋史学専攻】	慶應義塾大学文学部 教授	岩間 一弘
【西洋史学専攻】	慶應義塾大学文学部 教授	野々瀬 浩司
【民族学考古学専攻】	慶應義塾大学文学部 教授	杉本 智俊
司 会	慶應義塾大学文学部 准教授	長谷川 敬

三田史学会総会（17：00～17：30）

総会の Zoom ミーティングの URL 情報ならびに各種資料は、学会ウェブサイトの「2021 年度総会」の所定リンクよりダウンロードしてください。

（※閲覧するためにはパスワードが必要です。パスワードは先日お送りした葉書に記載してあります。）